

エコアクション21 2024年度環境経営レポート

株式会社協和製作所

作成日：2025年4月7日

CONTENTS

■表紙	1	3.環境経営方針	5
■目次	2	4.環境経営目標	6
1.組織の概要	3	①環境経営目標	6
①事業者名及び代表者名	3	②環境への負荷の状況と環境経営計画	7
②所在地	3	5.環境経営目標の実績及び環境経営計画の	
③環境管理責任者及び事務局	3	取組結果とその評価と次年度の取り組み	8, 9
④連絡先	3	6.環境関連法規への違反、訴訟等	10
⑤事業活動の内容	3	7.代表者による全体評価と見直しの結果	11
⑥事業規定	3		
2.対象範囲	4		
①認証、登録の範囲	4		
②レポートの対象期間及び発行日	4		
③EA-21推進組織図	4		
④役割及び責任と権限	4		

1.組織の概要

①事業者名及び代表者名

株式会社協和製作所 <創立：昭和35年1月>

代表取締役社長 藤原正治

②所在地

〒025-0015

岩手県花巻市東十二丁目

第19地割10番地51



③環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者：藤原豊

事務局：佐藤晴美、高橋昭広

④連絡先

☎0198-22-3145 / 📠0198-22-3922

URL <https://www.kyowa-f.co.jp/>



⑤事業活動内容

半導体コネクタ製造装置製作、弱电プレス部品加工

プレス金型設計製作

各種精密治工具製作

自動機組立



⑥事業規模（1月～12月）

資本金：3,100万円

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
主要製品生産量	t	64.27	42.21	42.76
売上高	百万円	265	262	468
従業員数	人	35	36	36
床面積	m ²	2,272.86	2,272.86	2,272.86

2.対象範囲

①認証・登録範囲

適用事業場の所在地と主要事業内容は以下の通りです。

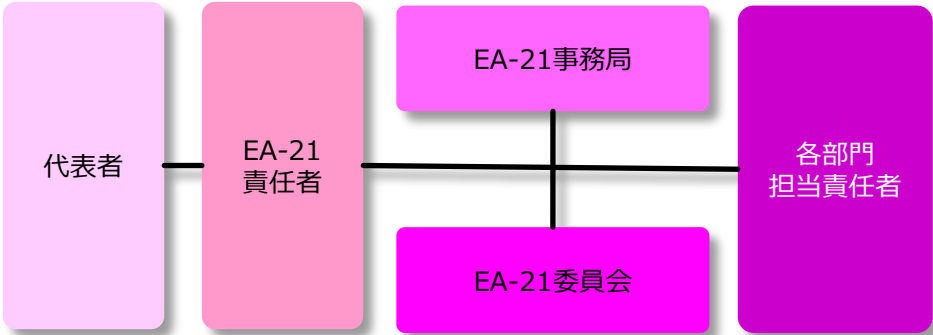
- ・岩手県花巻市東十二丁目第19地割10番地51
- ・半導体コネクタ製造装置製作、各種精密治工具製作、自動機組立、プレス金型設計製作、プレス部品加工

②レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2024年1月～2024年12月

レポート発行日：2025年4月1日

③EA-21推進組織図



④役割及び責任と権限

代表者 (社長)	1.環境方針の策定 2.経営資源の準備 3.代表者による全体の評価と見直し 4.環境経営レポート、環境目標、環境活動計画の承認 5.EA-21責任者の任命 6.課題とチャンスの明確化 7.実施体制の構築
EA-21 責任者	1.EA-21システムの確立 2.環境への負荷及び取り組みへの自己チェックの実施 3.環境目標及び環境活動計画の策定 4.環境活動レポート、環境経営マニュアルの作成 5.社長による見直しの為の情報提供 6.利害関係者からの情報の処理と連絡 7.取組状況、結果に対する予防・是正報告書の承認
EA-21 事務局	1.EA-21責任者の補佐業務 2.環境関連法規取りまとめ及び順守状況の確認 3.教育、訓練計画の策定と実施（緊急時対応訓練等） 4.環境文書及び記録の作成 5.その他EA-21に関する業務
EA-21 委員会	1.環境目標及び環境活動計画の結果確認 2.活動運用手順書の策定 3.EA-21に関する審議
各部門 担当責任者	1.電気使用状況の管理責任者・・・1名 2.一般廃棄物排出量管理責任者・・・1名 3.産業廃棄物排出量管理責任者・・・1名 4.水資源使用量管理責任者・・・1名 5.化学物質管理責任者・・・1名

3.環境経営方針

株式会社協和製作所は、「先人歩み来し星霜、自然豊かな理想郷イーハトーブ花巻」の未来に誇れる環境を守り続けていくために、事業活動のあらゆる分野で環境保全活動に努め、地域社会の発展に貢献することを目指します。

1. 当社は、精密機械部品製作等の事業活動を行うにあたり、省エネ・省資源への取り組みを重点分野と捉え、環境経営目標並びに環境経営計画を定めて、継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
3. 当社は事業活動に於いて、環境負荷を削減するため次の事項を優先的に取り組みます。
 - I) 二酸化炭素排出量の削減
 - II) 廃棄物排出量の削減
 - III) 水使用量の削減
 - IV) 原材料・物品等の調達に於ける環境配慮
 - V) 化学物質の含有把握
4. 全従業員が積極的に環境活動を展開するため、啓蒙・啓発に努めます。
5. 環境経営方針は当社従業員に周知徹底するとともに一般に公開します。

2019年1月5日

株式会社協和製作所

代表取締役 **藤原正治**

4.環境経営目標

① 環境目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下の内容の目標を設定いたしました。尚、目標設定の基準は2020年～2022年までの3カ年平均のデータとなります。

環境目標	2023年度	2024年度	2025年度	主な活動項目
二酸化炭素排出量の削減 過去3年平均200,213kg を基準とする	二酸化炭素の排出量 198,210kg以下 (-1%)	二酸化炭素の排出量 196,208kg以下 (-2%)	二酸化炭素の排出量 194,206kg以下 (-3%)	・休憩時間の消灯 ・製品不良率の把握 ・エアコンの時間・温度管理 ・設備の必要以上のアイドリングストップ ・材料購入量の換算データの記録
廃棄物の削減 過去3年平均1,198kg を基準とする	一般廃棄物の総量 1,186kg (-1%)	一般廃棄物の総量 1,174kg (-2%)	一般廃棄物の総量 1,162kg (-3%)	・梱包材とその他のごみの分別計算 ・業者への過剰梱包抑制の通知 ・梱包材の返却の促進 ・両面コピー、裏紙利用の徹底 ・紙類の分別の徹底
水使用量の削減 過去3年平均573m ³ を基準とする	水使用の総量 567m ³ (-1%)	水使用の総量 561m ³ (-2%)	水使用の総量 555m ³ (-3%)	・手洗い時の水節約の徹底 ・水道量の定期的管理 ・蛇口等の漏洩管理
不良品の発生抑制による 生産性の向上 (製品に関する環境目標)	不良発生件数 前年対比削減	不良発生件数 前年対比削減	不良発生件数 前年対比削減	・作業教育の充実 ・力量マップの活用 ・必要に応じた治工具の作成
環境負荷の少ない 原材料を使用する (製品に関する環境目標)	当社「化学物質管理システム」 により管理する	当社「化学物質管理システム」 により管理する	当社「化学物質管理システム」 により管理する	・ユーザー毎の化学物質管理の対応 ・原材料等の化学物質の含有調査 ・化学物質含有調査対象物質最新版 の維持管理 ・化学物質対象物の購入量及び保管 状態の管理

② 環境への負荷の状況と環境経営計画

◇環境負荷削減の目標及び環境経営計画を策定するための2023年度の環境負荷実績、それに係わる環境活動は以下の通りです。
※購入電力の二酸化炭素排出係数は0.428kg-co2/kwhを使用（R3環境省・経済産業省公表の事業者排出係数を使用）

項目		量	単位	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	環境活動
エネルギー 使用量	電力	414,909	kwh	177,581.05	95.5%	【二酸化炭素排出量の削減】 ・休憩時間の消灯 ・換気扇の管理 ・エアコンの温度、時間管理、終業10分前停止 ・コンプレッサーの夜間停止 ・電気給湯器の休日前停止 ・設備・車両のアイドリングストップの徹底 【廃棄物の削減】 ・両面コピー、裏紙利用の徹底と書類の積極的な電子化 ・紙類リサイクル、リユースと新聞紙の現場使用の抑制 ・緩衝材、梱包資材の回収、リユースの推奨 ・業者への過剰包装抑制通知と包装材の返却の促進 ・廃油のリサイクル、廃棄廃油の定期回収依頼 ・材料端材の分別徹底 ・ウエスの再利用 ・油類メーカー統一による使用量の削減 【水使用量の削減】 ・節水シール等の表示、蛇口等の漏洩管理 ・水使用量の自主的チェック
	ガソリン	3,427.16	L	7,951.01	4.3%	
	軽油	60.00	L	139.2.00	0.1%	
	灯油	54.00	L	134.46	0.1%	
	ガス（LPG）	94.39	kg	283.18	0.2%	
	合計			186,088.9	100.0%	
廃棄物 排出量	一般	1,477.00	kg			
	産業	4,810.00	kg			
水使用量		425.00	m ³			

◇事業活動による環境配慮等の環境経営計画は以下の通りです。

【製品に関する環境施策】

- ・原材料等の化学物質の含有調査
- ・使用禁止物質等の最新版の維持管理
- ・不良品削減対策による材料、電気量の削減

【グリーン購入の促進】

- ・原材料等の化学物質の含有調査
- ・使用禁止物質等の最新版の維持管理
- ・不良品削減対策による材料、電気量の削減

【その他】

- ・環境保全活動（環境委員会会議、工業団地内の清掃等）
- ・環境経営レポートの一般への公開

5.環境経営目標の実績及び環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組

I 二酸化炭素排出量の削減			2023年度実績			2024年度			2025年度		
基準年度			実績			目標値			実績		
2020年～2022年の 3カ年（平均）			201,918kg			196,208kg以下 (-2%)			186,089kg (5.2%減)		
			×			○			○		
									194,206kg以下 (-3%)		

【次年度へ向けて】
業界全体の需要の落ち込みに影響されて、当社の受注減による生産量の低下に伴い、電気使用量の減少が二酸化炭素排出量の削減に反映されたと考えられます。2025年の景気の見通しは不明ではあるが、生産量が増加したとしても、効率良く稼働できるように生産計画を行い、二酸化炭素排出量の削減に努めたいと思います。

II 廃棄物排出量の削減			2023年度実績			2024年度			2025年度		
基準年度			実績			目標値			実績		
2020年～2022年の 3カ年（平均）			1,402kg			1,174kg以下 (-2%)			1,477kg (23.3%増)		
			×			×			×		
									1,162kg以下 (-3%)		

【未達の要因】
生産業務に関わる特殊ごみは削減され、昨年の目標未達によって行った是正の内容が順守されていると評価しましたが、2024年は一般ごみの排出量が増加して総合的な結果、未達となりました。

【次年度へ向けて】
一般ごみ排出に対する認識の再確認として廃棄されている内容を調査する等、原因の究明並びに対策を講じて、排出抑制に努めていきます。

III 水使用量の削減			2023年度実績			2024年度			2025年度		
基準年度			実績			目標値			実績		
2020年～2022年の 3カ年（平均）			529㎡			561㎡以下 (-2%)			425㎡ (24.3%減)		
			○			○			○		
									555㎡以下 (-3%)		

【次年度へ向けて】
従業員ひとりひとりへの周知や、節水の呼び掛けを行った結果が目標の達成へと繋がったと思いますので、継続して意識を維持して削減に取り組んでいきたいです。

IV 製品に関する目標

不良件数の削減

基準年度	2023年度実績				2024年度	2025年度
	目標値	実績	評価		目標値	
2022年度	104件	76件	○	28件減	76件以下	2024年度以下

【未達の要因】

不良発生の要因であるヒューマンエラー対策として、工程内のダブルチェックや指示の見える化を徹底して不良削減に取り組んでいきます。

【次年度へ向けて】

作業員ひとりひとりの心掛けの成果が削減に繋がったと思いますので、2024年度も更に目標を達成出来る様に不良品削減の啓蒙に努めていきたいと思っています。

原材料等の化学物質含有調査

目標項目	目標値	実績	評価	目標値
当社「化学物質管理システム」による管理	含有量調査	含有量調査	○	当社「化学物質管理システム」による管理

【次年度へ向けて】

2025年度は化学物質の最新情報の入手や管理を行いながらリスクアセスメントとの情報の共有を図っていききたいと思います。

6.環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の順守状況確認は年1回実施しています。過去3年間、関連法規への違反、行政機関からの訴訟等はありませんでした。また、地域住民からの苦情もありませんでした。

適用される主な環境関連法規等は次の通りです。

適用環境関連法規等	適用される事項（抜粋）	確認	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処理	○	2025年1月14日
	産業廃棄物の処理委託基準の順守	○	
	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の管理・保管義務	○	
	管理票交付状況報告書の提出（毎年度6月30日迄）	○	
岩手県循環型地域社会の形成に関する条例	廃棄物の適正処理の確保	○	2025年1月14日
	屋外保管廃棄物の記録義務	○	
消防法	消防用設備点検結果報告書の消防署への届け出書の提出（3年ごと）	○	2025年1月14日
	消火器の耐用年数の確認	○	
労働安全衛生法	フォークリフトの定期特定自主検査（年1回）の実施	○	2025年1月14日
	プレス機の定期特定自主検査（年1回）の実施と結果記録の保管	○	
	フォークリフト並びにプレス機の作業前（始業前）点検の実施と結果記録の保管	○	
粉じん障害防止規則	6ヵ月以内に1回の定期粉塵濃度測定の実施と結果記録保管	○	2025年1月14日
フロン排出抑制法	7.5kw以上のエアコン室外機の3年に1回の業者点検の義務	○	2025年1月14日
	第一種特定製品の四半期自主点検と管理	○	
	冷媒用フロンが含まれる機器廃棄の際の適正な対応	○	

7.代表者による全体評価と見直しの結果

代表者（社長）へのインプット情報

- ① 「環境への負荷自己チェック結果表」より各データ
- ② 「環境への取組自己チェック結果表」より取組状況
- ③ 「EA-21推進組織図」より実施体制の確認
- ④ 「環境関連法規のとりまとめ及び順守状況チェック表」より順守の状況の確認及び契約書、届出書等の確認
- ⑤ 「環境経営計画表」より計画の実施状況確認
- ⑥ 「環境目標」より目標の達成度の確認
- ⑦ 「環境教育・訓練計画/実施結果」より計画・結果の確認
- ⑧ 「外部環境情報記録表」より利害関係者からのコミュニケーション結果
- ⑨ 「緊急事態対応手順と訓練結果」より緊急事態の準備状況の確認
- ⑩ 「問題点の是正/予防処置報告書」より是正、予防状況の確認
- ⑪ 環境管理文書・記録の確認

評価及び見直しの結果

評価見直しの日時：2024年3月25日

項目	変更	指示事項及び対応方法
I 環境経営方針	☐ 必要 ☒ 不要	見直しの必要なし
II 環境経営目標	☐ 必要 ☒ 不要	見直しの必要無し
III その他 マネジメントシステムに関する要素	☐ 必要 ☒ 不要	2024年は、業界全体の需要が落ち込み、弊社としても大変厳しい年度であったと感じます。低迷する需要の中で利益を生むには、業務内の3Mの削減による工程の見直し等で生産性の向上を図る等の努力が必要となります。その為、弊社では新たな取り組みとしてDXを取り入れた情報の共有化・正確化・速さを軸に工程の進捗管理を行う事として一部の部門で運用を始めております。 2024年は構築が主でしたが、2025年は本格運用となりますので、エコアクションとの連携をしながら定期的にPDCAへの落とし込みを行い生産性の向上へと繋げていきたいと考えております。